

2018年10月

同窓生各位

五中小石川創立百周年記念事業。「募金、本当に大ピンチ！」
「あと1万円のご協力を！」 再度の特別の寄付のお願い

五中小石川百周年事業実行委員会
実行委員長 俵 一雄 (018E)
募金委員長 高井俊成 (017A)

拝啓 寒露の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。紫友同窓会員の皆様には、かねてより紫友同窓会ならびに「五中小石川創立百周年記念事業」へのご寄付、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様で創立百周年記念日まで残りあとわずかとなりました。すでにご高承の通り幾つかの事業を企画し、この百周年を機に、伝統校、名門校に相応しい「新しい紫友同窓会」を作るべく準備を進めております。特に目玉企画として「教育支援基金」の設立を目指しております。

ところが残念な状況ではありますが、最新時の募金の実績が記念日までの短期目標の1億円に対しまだ1割ほどの未達成の状況にあります。

2018年9月末日実績 90,478,023円

以上のような状況のもと、同窓生の皆様をお願いして参りました「寄付金」は現状、百周年史作成、紫友スタジオの設置、デジタルアーカイブ体制整備など先行費用に充てられ、教育支援基金の原資としてはまだまだ不十分なレベルにとどまっております。云わば、「募金、本当に大ピンチ！」の状況にあります。百周年記念事業の最大の目玉企画である教育支援は、同窓会の行く末に関わる事業であり、盤石の資金基盤で開始しなければなりません。百周年事業の成功の鍵とも言えます。基金設立にむけて大ピンチではありますが、もう一步と言う状況でもあります。つきましては、既にご寄付を賜りました同窓生の皆様に、緊急に「あと1万円のご協力を！」をお声掛けさせて頂き、再度の特別のご協力をお願い申上げる次第です。

募金の窮状にご理解を頂き、また百周年記念事業の成功のために、ご厚志、ご支援を賜りますように切にお願い申上げる次第で御座います。

なおプレゼントが追加され、期間中寄付累積額2万円の特典として同窓会作成百周年史「百年の系譜」(224頁)と「みんなの百年」(224頁)2冊と学校作成「百年史」(120頁を予定)の合計3冊を贈呈させて頂くことを申し添えさせて頂きます。累積金額が2万円未満のかたはあと1万円のご寄付を、すでに2万円以上のかたはもう一段上のクラスまでのご寄付を是非お願い申し上げます。

敬具

五中小石川百周年事業の主な活動について、以下ご紹介致します。

◆教育支援事業

同窓会として若い現役の生徒たちへの未来の支えになることを目指し、教育支援基金を創設せんとするものです。小石川中等教育学校は、教育議論が高まる中、理数系教育を注力する学校として実績を上げ現在大きな注目を浴びております。国際的人材の育成を目指す都立高校 10 校「東京 GLOBAL10」に選定され、また文部科学省事業である国際的に活躍する科学技術人材の育成を目指す S S H(Super Science Highschool)の指定校として活動を続け、また校是「立志・開拓・創作」、それに基づくクラブ活動など自己啓発活動は伝統として継続されています。校内敷地や学校周辺に植樹していくことで環境や地域社会への意識を高めていく「小石川の杜プロジェクト」は、数十年の長期間にわたる活動として開始致しました。

これらの海外活動支援、クラブ活動支援などが更に充実したレベルで展開されることを願い長期的な視点に立って支援すべく、百周年を機に基金として創設するもので、学校、生徒の希望に沿った支援体制を作らんとする取り組みであります。

◆交流事業

同窓生同士が従来にも増して親しく繋がれることを目的とした「紫友交流室」をスタートさせ、「新しい紫友同窓会」活動を充実させることを目指しております。同窓生間のタテ、ヨコの交流をさらに深め、従来の特徴であったクラスやクラブを中心とした強い絆を保ちつつ、世代を超えた伝統校の同窓生全体を主体として、価値の共有、新しい活動の創出を期待しての取り組みであります。

すでに「紫友まちあるき会」など世代を超えて同窓生が集う会や、「紫友サテライト」、「紫友交流室セミナー」など様々な交流事業が動いております。交流室 facebook や twitter のアカウントも取得致しました。企業・業界単位の紫友会や、紫友国際室の設置も準備中です。

交流室活動の実証実験拠点である紫友スタジオは不忍通りをはさんで学校の向かい側のビルの地下 1 階です。電子ピアノ、大型ディスプレイ、プリンター複合機なども用意致しました。クラス会、OB/OG 会、セミナー、打合せ、楽器の練習や演劇の稽古に、また五中小石川に関する資料のデジタルアーカイブや、遠距離の会員との web 会議などにもご利用頂けます。

◆百年史編纂

執筆陣各人の精緻な調査と考察をもとに、百年を特徴のある時代に分けて編纂した「百年の系譜(224 頁)」。左ページに掲載された当時の出来事と対比あるいは全く無視して、右ページに各学年が小石川を熱く語る、情熱満載の「みんなの百年(224 頁)」。同窓会が制作する五中・小石川百年史はこの 2 冊で構成致します。なお、小石川中等教育学校が編纂する、直近 10 年を中心とした「小石川創立 100 周年記念誌～中等教育学校のあゆみ～」(120 頁予定)も、ご寄付累積 2 万円以上のかたに贈呈致します。

※上記以外の事業の進捗状況についても、同窓会ホームページをぜひご覧下さい。

以上